

病害虫防除技術情報第 2 号

令和 3 年 4 月 1 日
三重県病害虫防除所

冬から春の気温が高く、スクミリンゴガイによる水稻の被害の拡大が予想されます。移植後の気温に注意して適期に対策を行ってください。

1. 対象作物： 水稻
2. 対象病害虫名： スクミリンゴガイ
3. 発生状況
 - (1) 近年、伊賀地域を除く県内全域でスクミリンゴガイの発生が増加しています。その発生区域は海岸近くから徐々に内陸に広がっています。
 - (2) 病害虫防除所が行った調査では、令和 2 年 6 月のスクミリンゴガイの被害発生圃場率は 8.1%(平成 4.4%)と高い状況です。
 - (3) 津のアメダスデータにおける 2020 年 12 月～2021 年 2 月の平均気温は 7.3℃(平成 6.3℃)と高く、圃場内の越冬個体数は多いと考えられます。
 - (4) 1 か月予報(3 月 25 日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう 1 か月の平均気温は平成より高く、特に期間の前半はかなり高くなる予報です。
4. 防除対策
 - 1) 薬剤による防除
 - (1) 被害が大きい時期は移植後から移植後 3 週間までで、この時期の水温が 17℃を超えると被害が発生する恐れがあります。スクミリンゴガイが動いていることを確認してから使用基準に従い実施して下さい。薬剤は三重県農薬情報システム(https://www.nouyaku_sys.com/nouyaku/user/top/mie)で 検索することができます。
 - (2) 薬剤は湛水状態(水深 3～5cm)で処理し、7 日間は落水やかけ流しを避けましょう。
 - (3) 用水路など水田以外の場所には散布できません。
 - (4) 殺菌剤と食害防止剤を併用する場合は、殺菌剤を散布後 7 日以降に食害防止剤を散布しましょう。殺菌剤を散布する前に、食害防止剤を散布することは控えてください。
 - 2) 耕種的防除
 - (1) スクミリンゴガイは水深が浅いと活動が制限されるため、水深 4cm 以下の浅水で管理すると被害が少なくなります。
 - (2) 入水口、出水口に約 9mm 以下の目合いの網を張り、水路からの侵入を防ぎましょう。
 - (3) 例年発生が見られる水田で使用した農業機械は、作業後に十分洗浄し、未発生水田に貝を持ち込まないように注意しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。